

## 地域密着型金融の取組事例について

 タイトル 東美濃担い手協議会

 JA名 JAひがしみの(岐阜県)

1 動機 (経緯)	土地利用型農業の担い手対策として、担い手、農地、生産対策を一体的に行い中山間地における農業の発展に資することを目的に、平成24年3月に『東美濃担い手協議会』を設立いたしました。
2 概要	現在、土地利用型農業を経営として行う16組織により構成されており、農業政策、補助事業の説明会、会員相互の連携を図る意見交換会、JAに対する要望の場となっており、融資に対する要望、資金需要の把握に努めてまいります。
3 成果 (効果)	平成24年3月9日設立総会 農業団体関係者16名、行政関係4名、JA関係13名出席  平成24年6月25日戸別所得補償制度説明会及び意見交換会 農業団体関係者34名、行政関係14名、JA関係16名出席
4 今後の 予定(課題)	現在、法人等の営農組合16組織にて構成されておりますが、今後農地集積を行う認定農業者を含め20~30の経営体の参加を目指しています。